

編 集 後 記

三重大学留学生センター紀要第6号をお届け致します。

本年度は、念願の留学生センター移転がありました。これまで留学生センターの教室や研究室が分散しておりましたが、留学生課と共に新しい校舎の一カ所に集まることで、センターの運営や授業運営、教官同士の意思の疎通も一層円滑になりました。元気な留学生の姿、笑い声がいつもそこにあります。また、留学生センター移転に際し、留学生専用のコンピューター室が開室されたことで、留学生への授業内容も大きく進展しました。

この紀要第6号には、研究論文7本、実践報告4本、合計11本の論文が収められています。特別寄稿として、留学生センター長・伊藤信孝生物資源学部教授より海外協定校との最先端農業技術開発に関する共同研究の論文が寄稿されました。研究論文では、日本人学生と留学生の交流活動に基づく研究、比較文化論から見た周作人と日本に関する研究、音声と非言語的情報を結びつけた聴解指導に関する研究、地域在住外国人のための日本語コース・デザインに関する研究、外国人児童・生徒に対する教科学習支援に関する研究、中級日本語学習者を対象にした発話ストラテジーの使用実態に関する研究など、多岐にわたっています。また、実践報告では、多文化共生社会における日本語コミュニケーションのあり方に関する提言、日中対照表現に関する授業報告、留学生センター・コンピューター室の開室報告、そして、3学部の教官で取り組んだ全学部を対象とした「日本語学習サポート」の取り組みが報告されています。

多くの大学がそうであるように、三重大学も2004年度からの独立法人化によって、さまざまな新しい風が吹き込まれようとしています。留学生センターも更なる飛躍が期待されています。留学生センターは、その多くの期待を背負いながらも、新しい風の中で教育と研究の両輪の歯車でしっかりと大地を駆け、成果の轍をしっかりと軌跡としてこの紀要にも残していけるよう努めていきたいと思っています。

紀要第6号の作成にあたってご協力いただいた関係各位の皆様方に心より御礼申し上げます。留学生センタースタッフ一同、教育・研究の質的向上に努め、今後とも日々精進して参りますので、皆様方の更なるご支援をいただきますようお願い申し上げます。
(福岡昌子)

三重大学留学生センター紀要 第6号

2004年3月20日 印刷

2004年3月25日 発行

編集委員：福岡昌子(委員長)

鹿嶋 恵

藤本 久司

発行者 三重大学留学生センター

〒514-8507 三重県津市上浜町1515

印刷所 伊藤印刷株式会社

〒514-0027 三重県津市大門32-13

TEL 059 (226) 2545 FAX 059 (223) 2862